



2016年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第11回 明治神宮外苑大学クリテリウム

UNIVERSITY STUDENT CYCLE ROAD RACE CUP SERIES - FINAL ROUND
11TH MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM

パラサイクリング・タンデムロードレース

国際自転車競技連合UCIパラサイクリング国際カレンダー登録 UCIランキング対象大会



概要書 OUTLINE OF THE EVENT ver1.6-20170227

日程/Date	2017年3月12日(日) 12 MARCH. 2017		
会場/Venue	明治神宮外苑外周コース	Meiji Jingu Gaien Public Road Circuit	
周長/Lap	1周1.5km	1.5km per lap	
主催/Organizer	日本学生自転車競技連盟	Japan Intercollegiate Cycling Federation	
後援/Supporters	明治神宮外苑	Meiji Jingu Gaien	(い)
ずれも予定又は申請中)	東京都	Tokyo Metropolitan Government	
	新宿区	Shinjyuku Board of Education	
	公益財団法人 日本サイクリング協会	Japan Cycling Association	
	公益財団法人 日本自転車競技連盟	Japan Cycling Federation	
会場警備/Traffic security	株式会社シミズオクト	Shimizu Octo Inc.	
協力/Cooperation	東京都自転車競技連盟	Tokyo Cycling Federation	
協賛/Sponsors	株式会社日直商会	Nichinao Shokai	
	株式会社パールイズミ	PEARL IZUMI.,INC	ほか(予定)

特 徴

学生スポーツのメッカ・神宮外苑での大学サイクルスポーツの頂点

日本全国を転戦する全日本学生ロードレース・カップ最終戦+クリテリウム学校対抗

明治神宮外苑大学クリテリウムは年間十数戦からなる「全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ」最終戦として位置づけられ、総合優勝者に授与される黄色地に学連ブルーのチャンピオンジャージを競う場となっており、大学生の都市型ロードレースにおける頂点を決する大会です。また、学校別チームエントリーによるクリテリウム学校対抗戦ともなっており、インカレ、チーム・ロードレースと並んで大学別優勝を決する大会として高く位置づけられています。更に世界大学選手権自転車競技大会派遣選手選考大会のひとつでもあり、学生自転車スポーツの国際化とレベル向上に寄与し、明治神宮外苑に根付いてきています。



シリーズ戦

リーダー・ジャージ

2016年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ戦 日程

2016年/平成28年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ					
4	30-5/1	土・日	第1戦	第10回 菜の花飯山ラウンド	長野県飯山市
5	14-15	土・日	第2戦	第18回修善寺オープンロード+女子オープンロード	静岡県：日本C S C 5kmサーキット
7	17	日	第3戦	大町美麻ロードレース	長野県大町市美麻地区
7	23-24	土・日	第4戦	第11回 白馬クリテリウムラウンド	長野県・白馬町特設サーキット
7	30	土	第5戦	WANGANサイクルフェスティバル湾岸クリテリウム	東京都江東区青海
9	4	日	第6戦	けいはんなサイクルロードレース	京都府木津市
9	11	日	第7戦	第10回 山形村ヒルクライムラウンド	長野県山形村
11	13	日	第8戦	第8戦東日本大会・浮城の町行田クリテリウムラウンド	埼玉県行田市・運動公園前
12	11	日	第9戦	埼玉クリテリウム行田第1ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
2017年					
1	8	日	第10戦	埼玉クリテリウム行田第2ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
1	22	日	第11戦	埼玉クリテリウム行田第3ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
2	19	日	第12戦	埼玉クリテリウム行田第4ラウンド	埼玉県行田市・古代蓮の里
3	12	日	最終戦	第11回明治神宮外苑大学クリテリウム	東京都・明治神宮外苑

都心型クリテリウムの黎明 54年ぶりの都心部サーキットロードレースとなった70周年記念クリテリウム

2007年2月4日に「明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」は、日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事として、関係各位のご協力を得て晴天に恵まれ、多数の観客が見守るなか円滑に開催されました。所謂都心部を主会場とする自転車ロードレースの継続開催を望む各方面の方々の声に応え、多くの方々が観戦可能な都心部での大会として継続開催されています。

サイクルスポーツの国際交流促進

学校対抗形式（各校3名のチームエントリー）のグループ1には2009年以降、韓国・オランダやオーストラリアから毎年招待チームが参加し、国際色を伴ってきています。

2017年はオーストラリアからメルボルン大学チームの参加を予定しています。

パラ・サイクリングの振興

すでにここ数年タイムトライアルに、所謂障がい者スポーツの自転車競技・パラサイクリストに参加頂いて折りますが、今回は更に踏み込んで、視覚障害者が後部座席に座って走る二人乗り自転車の「タンデム」ロードレースを、国際自転車競技連合（UCI）公認のパラサイクリング（パラリンピックスポーツの自転車競技）レースとして実施します。2020年東京、そしてその後に向け、オリンピックとパラリンピックを融合した新たなシステムの構築が日本のスポーツ界には大きく求められています。その中でも、障がい者と健常者がともに参加でき、かつ競技ルールに則った公式の競技大会の開催が特に重要となります。既にここ数年のタイムトライアルレースにパラサイクリングの選手に参加いただいておりますが、本大会ではさらに踏み込んで、公式レースとして実施するものです。

「タンデム」は以前、自転車競技の世界選手権種目であり、1990年に日本（前橋）で開催された世界選手権で唯一日本が獲得できたメダルがこのタンデムでした。現在、日本国内で本格的大会でタンデムを実施しているのは「全日本大学大会選手権」と「全日本学生選手権自転車競技トラック大会」の2大会のみとなっていますが、2020年のパラリンピック東京開催を機に、タンデムで日本の街を走れるようにしていき、幅広い人々に開かれた道と街を整備していこうという機運が高まっています。**本大会では国際競技日程に登録されたパラリンピックにつながるランキングポイント獲得可能な本格的なタンデム大会を実施し、競技と振興の両面からこれをサポートしていきます。**

走りながら考えよう 「大学自転車フォーラム」をレース前日に開催

大会開催のみにとどまらず、全国から競技者の集まる機会を活用して前日に「ユニバーシティ・フォーラム」を開催しています。2014年は、ロンドン五輪を契機に整備された「ヴェロパークのレポートを挟んで、東京・日本が残すべきレガシーについていち早く議論が行われました。2015年は大規模木構造によるヴェロドロームの可能性について東京大学の川添准教授の提案をお聞きし、トラック会場のあり方について学生達の熱心な議論が行われました。2016年は、「2021年にむけて：ソフトパワー・レガシー：ヴィジュアル・エンターテインメントとしてのサイクルスポーツの復権」をテーマとしました。2017年も時代の要請に即したテーマ設定でのフォーラムを予定しています。

こども、その親の世代であるマスターズ世代に参加機会のある大会へ

将来のサイクルスポーツ振興にとって学生自転車競技の振興は不可欠ですが、それにとどまらず、将来サイクルスポーツに何らかの関わりを持つ若年層の掘り起こしにむけて、小・中学生のタイムトライアルを実施します。

また、小中学生の来場促進のため、そのご両親の世代の自転車競技に対する理解を深める場をとして、マスターズのタイムトライアルとクリテリウムレースを実施します。更に、競技に参加する選手達と一緒にレースコースを走る体験の機会として、又エントリー料の支払いを通じてこの大会の運営に寄与していただける方々の参加機会として、一般参加のライド（レースではありません）を実施します。

競技運営のプロトタイプ提示としての役割

皆様のこうした期待に応えるべく、安全性に対する十分な配慮、関係機関との十分な調整に基づく入念な準備という基本方針を堅持しつつ、継続的に開催可能な収支計画とより多くの参加者を受け入れられるオープンな体制とのバランス・ポイントを求め、準備・運営を進めてまいります。社会に必要とされ、支えられる大会で有り続けるため、民間企業・団体からの支援、参加チーム学生・OBのマンパワー、行政・開催地諸機関の協力を得て実施して参ります。この大会の実施は、他の都市部におけるクリテリウム大会実施の規範としての役割を果たしてきています。

Version20170227		
時 程 表 / TIME TABLE		
3月11日(土) 11th MARCH SATURDAY		
14:30-17:30	大学自転車競技フォーラム東京「2021に向けて-その4」	
	「タンデムを通じたパラリンピック・オリンピックのインテグレーション」	
	会場：早稲田大学大隈講堂小講堂（東京都新宿区戸塚町）	
	University Bicycling Forum TOKYO "Towards 2021 part 4"	
	WASEDA UNIV. OKUMA SMALL AUDITORIUM /TOKYO	
3月12日(日) 12th MARCH SUNDAY		
6:00	会場設営開始/Course installation	
7:30	競技役員・立哨役員集合打合/Commissaires & Marshalls meeting	
9:00	交通規制開始/ Public traffic control start	
09:00 - 09:30	参加選手受付・ゼッケン配布/Body Number distribution	
10:00	開会式/Opening Ceremony	
10:20	オープン&ウォームアップ・ライド/Open & Warm-up Ride	1.5km×5laps = 7.5km
10:50	タイムトライアル(小・中学生,ハンドサイクル、マスターズ)	1km×1 lap = 1km
	TIME TRIAL (Kids, Master's, Handcycle)	
11:15	男子大学生 グループ3 A組/Students Men Group-3A	1.5km×4laps = 6km
	男子大学生 グループ3 B組/Students Men Group-3B	1.5km×4laps = 6km
	男子大学生 グループ3 C組/Students Men Group-3C	1.5km×4laps = 6km
12:00	マスターズ・クリテリウム/Masters (over 30) Criterium	1.5km×8laps = 12km
12:20	表彰式(午前の部) Awards Ceremony	
	立哨員昼食(コース閉鎖) Lunch break / circuit close	
13:00	男子大学生 グループ2 A組/Students Men Group-2 A	1.5km×8laps = 12km
13:25	男子大学生 グループ2 B組/Students Men Group-2 B	1.5km×8laps = 12km
13:50	女子(学連登録選手+JCF登録競技者) /Women (JICF + JCF)	1.5km×8laps = 12km
14:20	パラサイクリング・ロードレース(タンデム)	1.5km×16laps = 24km
	Para-Cycling Tandem Criterium	
15:10	男子大学生 グループ1(大学対抗)	1.5km×20laps = 30km
	Students Men Group-1 (University Team Match)	
16:00	表彰式・閉会式(午後の部、大学対抗、シリーズ総合)	
	Awards & Closing Ceremony	
17:00	規制解除(予定：早まる場合があります) /End of Public traffic control	

式 次 第

開会式

開会宣言

主催者挨拶

来賓挨拶・ゲスト紹介

全日本学生RCS門田杯返還

選手宣誓

10時00分より スタート・フィニッシュ地点にて

方山 堯 日本学生自転車競技連盟学生委員長

村岡 功 日本学生自転車競技連盟会長

未定

オーストラリア・メルボルン大学チームメンバー

パラサイクリング・タンデム選手紹介

前年度RCS総合リーダー

前回優勝校代表

表彰式・閉会式

表 彰

歓送のことば

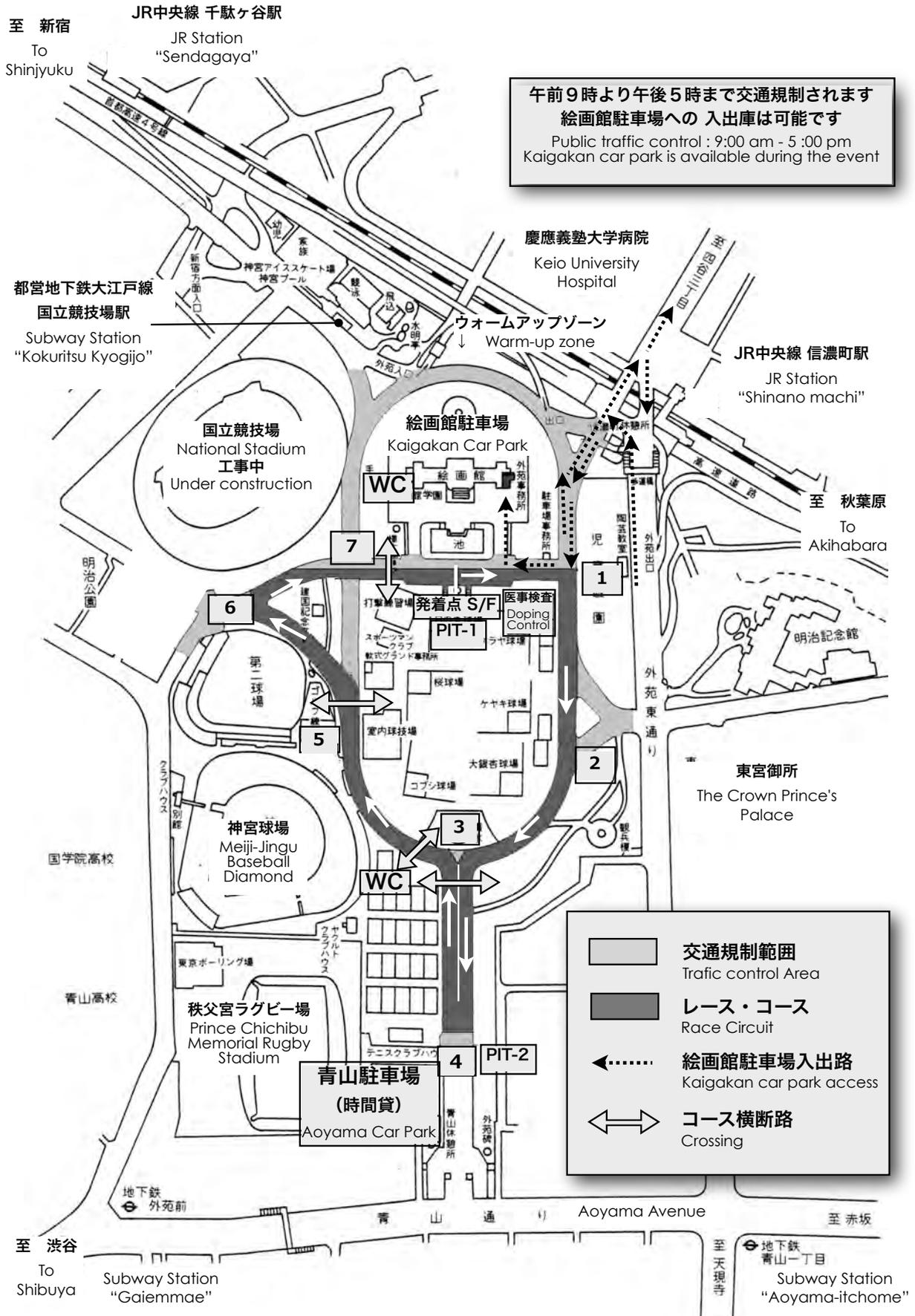
閉会宣言

16時00分より スタート・フィニッシュ地点にて

午後の部各カテゴリ、大学対抗優勝杯贈呈、RCS総合

井関康正 日本学生自転車競技連盟副会長

松倉信裕 日本学生自転車競技連盟理事長



午前9時より午後5時まで交通規制されます
 絵画館駐車場への入出庫は可能です
 Public traffic control : 9:00 am - 5:00 pm
 Kaigakan car park is available during the event

	交通規制範囲 Traffic control Area
	レース・コース Race Circuit
	絵画館駐車場入出路 Kaigakan car park access
	コース横断路 Crossing

テクニカル・ガイド

v2017.2.1.

- 大会日程 2017年3月12日(日) (雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)
- 会場 明治神宮外苑周回コース 1周1.5km (東京都新宿区・港区)
- 大会主旨 本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生ならびにその両親の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することをも目指す。
- 主催・主管 日本学生自転車競技連盟
- 後援 明治神宮外苑 東京都 新宿区
公益財団法人日本自転車競技連盟 公益財団法人日本サイクリング協会 (予定・順不同)
- 会場警備 株式会社シミズオクト
- 協力 東京都自転車競技連盟 シクロチャンネル
- 協賛 株式会社日直商会 株式会社パールイズミ
株式会社シマノ ジブラルタ生命保険株式会社 有限会社横尾双輪館
株式会社オージーケーカブト (予定・順不同)
- 競技規則 国際自転車競技連合(UCI)規則,(公財)日本自転車競技連盟競技規則,本大会特別規則による。
- 競技種目および参加資格
- (1.2.3.4.5.7.参加資格共通事項：本年度公益財団法人日本自転車競技連盟登録競技者)
(1.~3.参加資格共通事項：日本学生自転車競技連盟登記選手)
(1.~5.は競技用ロードレーサー使用のこと、6.8.9.は自転車の制限は特にありません)
1. 大学生男子大学対抗(グループ1) 20周30km
本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する1校あたり2名から3名までの選手。
ただし日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。
本連盟が招聘した海外大学チーム、1チームあたり2名から3名までの選手。
グループ1申込者に正当理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ2参加申込者より2名迄の補欠を起用する事ができる。
2名未満のチームは参加することはできない。当日欠場により2名未満となったチームはグループ2での出走を認める。
 2. 大学生男子グループ2 8周12km
本連盟ロードカテゴリ・クラス1または2の選手。
 3. 大学生男子グループ3 4周6km
本連盟ロードカテゴリ・クラス3の選手。
 4. 女子クリテリウム 8周12km
全ての(財)日本自転車競技連盟登録女子競技者。
 5. マスターズ・クリテリウム 8周12km
本年度日本自転車競技連盟登録選手(男女)で開催年1月1日時点で満30歳以上の者。
ただし、集団スタートロードレース走行経験者に限ります。
 6. 小・中学生タイムトライアル 1周1km(銀杏並木Uターンなし)
小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。
 7. マスターズ・タイムトライアル 1周1km(銀杏並木Uターンなし)
本年度日本自転車競技連盟通年登録選手(男女)で2015年1月1日時点で満30歳以上の者。
 8. パラサイクリング・ロードレース(タンデム) 16周24km
別途定める。
 9. オープン&ウォームアップ・ライド(レースではありません) 5周7.5km
ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。
および上記1から8に参加するすべての者。
各カテゴリとも上限概ね60名(オープン&ウォームアップ・ライドは概ね100名)迄。

日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数（東京および隣接県の学校）	供出立哨役員数（左記以外の学校）
1	0	0
2～3	1	0
4～5	2	1
6～7	3	1
8以上	選手2名につき1名 (少数点以下切り捨て・最低数)	選手4名につき1名 (同左)

立哨役員は、コース上の指定された箇所（合計約100カ所）に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している、**当年3月31日時点で満18歳以上の者とする**。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。

・大会本部用テントの供出数

大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各1張。テントの大きさは特に制限はないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は1万円のペナルティーを課す。

参加申込 参加を希望する選手は学連HP掲載の所定のエントリー用紙にて entry@jicf.info 宛申込の上、参加費を2月7日(火)までに支払を済ませること。

振り込み先は 長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟 支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。正当な理由なき欠場者には、参加料と同額のペナルティーを課す。

・参加料は、本連盟登記大学生5,000円、小・中学生 500円（新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は300円）、女子オープン7,000円、マスターズ・クリテリウム、マスターズ・タイムトライアル各7,000円、但しマスターズ・クリテリウムとタイムトライアル2種目参加時は10,000円、オープン&ウォームアップ・ライドのみの参加者は5,000円とする。

パラサイクリング・ロードレースに参加するJCF通年登録者は7,000円、通年登録者でない者は8,000円とする。

・参加料には、駐車料金は含まない。

・大学対抗に出場する前年度上位8位までのチームはチーム紹介に記載する各出場選手の写真及び主な戦績を事務局に送付のこと。

大会本部 聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00 電話：080-4176-2369

選手受付 1.大会本部にて、9:00-9:30の間にライセンスを提示してゼッケンを受取ること。（小・中学生、オープン&ウォームアップ・ライドはライセンス不要）

2.選手は、各カテゴリー競技開始15分前迄に出走サインシートに出走サインを自署すること。

事故措置 1.競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。

主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。

2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。

3.各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

特別規則

第1条（個人順位）

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

第2条（大学対校順位）

大学生男子グループ1に出場の各校における上位者2名の順位合計の少ない学校順。

順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第3条（周回獲得、遅れ）

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。

原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。

認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合はコミッセルの判断による。

競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第4条（中間スプリント賞）

男子大学生グループ1の5周回目、10周回目、15周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。

また、女子及びマスターズについては4周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。

第5条（事故）

認められる事故の場合、最後の2周（グループ1は5周）を除き1週のニュートラリゼーションが適用される。

器材修理は、指定されたピット（S/F地点および銀杏通りUターン部）においてのみ認められる。

第6条（飲食料補給）

飲食料の補給は認めない。

第7条（自転車）

公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

第8条（無線装置）

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第9条（ギア比）

大学生ジュニア選手のギア比の制限は行わない。

タイムトライアルのジュニア、ユースのギア比はJCF規則による。

第10条（賞典）

オープン&ウォームアップ・ライド 参加者全員に参加賞（表彰式はありません）

小中学生タイムトライアル 完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）

マスターズ・タイムトライアル 完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）

親子孫家族表彰 小中学生+マスターズ・タイムトライアル2名合計タイム最上位者に賞品

以下のカテゴリーは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。

マスターズクリテリウム、女子クリテリウム、男子グループ1, 2, 3

優勝者：賞状・賞品、第2-8位：賞状。

大学対校順位 優勝校：賞状・賞品、第2-8位：賞状。

大学生男子グループ3各組上位5%は、クラス2に昇格する。大学生男子グループ2各組

ならびに大学生男子グループ1に出走したクラス2の選手の最上位者はクラス1に昇格する。

タンデム 別途定める

第11条（その他）

ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ地面に静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、3000円のペナルティを科す。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを確認すること。

問い合わせ先：日本学生自転車競技連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館412号室

電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp ホームページ：http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/

事務局へのお問い合わせは電子メールにてお願いします。

電話問い合わせは毎週水曜19時より22時のみ承ります。☎03-3481-2369